

Ⅱ. 教育内容・方法の実践と研究

1. 高校国語教育の問題点

国語教育については、教師の側からも今まで実にいろいろ論議されて来たし、現在もされている。しかしその場合、高等学校の国語教育については省みられる機会が少なかった。この事実の裏には、高校という教育課程が、中学から大学への、あるいは職場へのプロセスとして認識され、しかもプロセスであるが故に大事にされるのではなく、むしろプロセスであるが故に安易に無反省に行なわれ得たという事情がある。このことは国語に限らず、一般的に言えることと思われるが、いわゆる系統的な学問でない国語という教科においては、その傾向が著しかった。生徒の学力の不足は、小中学校教育に責任を転嫁できたし、又進学・就職制度の悪に自身の立場を正当化し得た。しかしそうしているうちにも、自分の文章が入試の問題文に採られた著者自身でさえ解けないという問題が、進学しようとする生徒に課せられる一方、就職しようとする生徒には、「菟藪」が読めるかどうかというエクセントリックな問題が試されたりもする。その中で生徒は受験専門家の提供する技術主義にすがり、見事な権威主義者・事大主義者として成長を遂げる。他方、教師は、本不意ながらも、あるいは知らず知らずに権威の傘下に身をすり寄せて武装することになる。

高等学校における国語教育の困難が、以上のような事情からのみ来るとみるのは、勿論単純にすぎるが、しかしこのような実情も否定できないであろう。

それでは高校の国語教育がその主体性を回復するためには、何がなされねばならないだろうか。それには先ず国語教師の側で、国語という教科において、一体何を教えるかについての確認がなされなければならないと同時に、国語という教科を通してどういう人間を育てるのか、いわば教育の根本問題が問われねばならぬだろう。これらの問題は、今まで幾度も論議されたことではあるが、常に新しい問題であるはずである。そしてこの中からしか、変革への展望もエネルギーも生じて来ないであろう。

生徒の思考力・表現力・読解力等の欠如は夙に指摘されていることである。国語教育が文学教育にふけていたためそうなったのだという批判が、相当多く聞かれる。しかし文学教育が正当に行なわれ得ていたならば、果してそうなったであろうか。というより問題があったとはいえ、今まで行なわれて来た文学教育が果して生徒の力を低下させたのであろうか。文学教

育は外部の人々から、あるいは国語教育の内部からさえ、単なる感情教育と見られがちであるが、あまりにも偏った見方といわねばならないだろう。生徒に生命力にあふれたことばを回復させ、生きる問題を考える主体を形成させるために、文学教育は必須であろう。

又他教科の内容の高度化に比べて、国語教育の非高度性が云々されたりする。しかし国語教育が、各教育課程においてむだな繰り返しが余儀なくさせられている現状では、その批判に答えることはできないであろう。このむだが除去されるならば、高等学校における国語教育はかなり高度なものとなし得るし、又そうでなければならない。文学史も系統的に教えられるべきだし、文法・言語史を含む、かなり専門的な言語教育も当然されてよい。それに関連して言えば、現在のあまりにも総花的で、どれも食い足りない教材を満載した教科書は考慮されなければならないであろう。読書の量も少なく、範囲も狭くなった昨今の生徒達に、せめて国語の時間にだけでも、広く読むという経験をさせたいという教育的配慮がそこにあるのであったら、そのような非教育的な態度は、国語教育において真先に捨てられねばならない。

国語教育の内容の高度化はぜひ行なわれなければならない。しかし現状ではそれが困難であるからといって、責任をすべて小・中その他の国語教育に転嫁することは、不毛を結果するだけであろう。高等学校における国語の問題は、そこにおける義務が確認されるとともに、高等学校の範囲を越えた、国語教育の全課程の問題として考えられねばならない。最近初等教育において全面的に国語教育が充実されるべきだという考え方が出て来ている。つまり初等教育の前半においては、理科的・社会的の内容を含んだ文章を国語科として扱い、子供に自然や社会・人間に対する初歩的な知識を与えると共に、国語の基礎能力を養い、初等教育の後半において、理科や社会が教科として独立するにつれて、国語教育は文学や言語やの領域に限られて行くべきであるというのである。妥当な主張と云うべきであろう。これは高等学校の国語教育の問題でもあるはずである。さらに、国語教育に対する批判が、国語教育の内部のみならず、あらゆる方面からあるということは、逆に国語教育が単に国語科だけの問題でないことを示している。今まであまりに孤立的であった各教科が、今こそ、それぞれの立場を理解し合う時ではないだろうか。

(滝藤)